

くしまっ子

「思いやり送球」福島野球少年団 キャッチボール全国3位

昨年12月に愛媛県で開催された「キャッチボールクラシック2019全国大会」で、福島野球スポーツ少年団が全国3位入賞という快挙を果たしました。

キャッチボールクラシックは、キャッチボールの正確さとスピードを競う競技であり、日本プロ野球選手会が野球の原点であるキャッチボールの普及のため誕生させました。9人1チームが5人と4人に分かれ、縦1列になり、先頭の選手が交代しながら1個のボールを投げ合い2分間の回数で

躍を誓います。

川崎さんは、「練習以上の力を発揮し、結果を残した子どもたちはすごい」と健闘をたたえます。主将の津曲和弥くんは、「最後の大会で全国3位という結果を出せて嬉しかった。中学でも野球を頑張り全国大会へ行きたい」とさらなる活躍を誓います。

野球の原点キャッチボール スポーツボールクリスマス2019 in愛媛



キャッチボールクラシック2019全国大会での表彰式

「やったぜ!」



33 福島野球スポーツ少年団

部員18人。津曲和弥くんが主将を務める。昨年12月に開催されたキャッチボールの全国大会で、3位入賞を果たす。

勝負が決まります。

福島野球スポーツ少年団は、1〜6年生の計18人が所属しており、監督である川崎貴憲さん指導のもと、週6日の練習に励んでいます。同少年団は昨年6月に川南町で開催された県代表を決める宮崎大会で優勝し、全国大会出場を決めます。全国大会に向けて練習では常に、「相手が捕りやすい球を投げる『思いやりの送球』を意識させました」と川崎さん。

全国大会では、1、2回戦、準決勝、ほとんどミスをすることなく勝ち抜き、8チームで争う決勝に進出。決勝では109回の好記録を出しました。

地域おこし協力隊

活動日記

vol.33 決めるのは私の「胃袋」

ふくしま あやの
福島 綾乃さん



串間に来た頃は、合わない土地だと思っ
たら別の場所に行けばいいと偉そうな事を思っ
ていました。それが今や出ていく気になれず、
これもまた厚かましいけどなんとか居座って
やろうと思っています。

任期終了に近づくにつれ「相手は？」と聞
かれることもしばしば。「どんな人を旦那さん

にしたい?」という質問もあり、その類につい
ては一つとしてあるのでちょっと考えてみま
した。それにはまず自分が「どんな人に懐い
ているのか」を分析するのが一番。初めに頭
に浮かんだのは母屋でした。私は隠居に住ん
でいて隣に母屋があり、母屋のお父さんは
漁・猟ともに明るく、お母さんはとてもお料理
が上手。たまにお邪魔する晩ご飯の美味しい
こと♪

そもそも、串間から出る気になれないのは
母屋のご夫妻に胃袋をつかまれたっていうの
が大きいかも。地元の鮮度の高い美味しいも
のをナビゲートしてもらってるってすごく贅沢
な事です。私の中で「食べもの改革」が起きた
のは事実で、お野菜だって都会のスーパーよ

りはるかに美味しい。さらに人間が生きてい
く上で絶対必要とする事柄じゃないですか
「食べる」って。結構みんな当たり前だと思っ
てるだろうし、気にも止めてないのかもしれ
ないけど、それが充実してるって最高ですよ。
という事で、将来旦那さんになる方には第
1条件として「料理ができる事」を提示しよう
と思います。強いて言うと寝る前に「明日の
晩ご飯、何がいい?」って聞いてくれる人です
ね。でもこればかりは私の意思ではどうも
なりませんね。縁と私の「胃袋」が決めること
なんで(笑)
※縁談のご紹介はありがた迷惑です。どうぞ
ご心配なく。



串間のあんな人こんな人

People

ピープル

串間で活躍する人を
紹介します

きらめき図鑑

kirameki

率先して取り組むことをモットーに

楽しめる場所を作りたい

「ももちゃんず」という、串間市バスケットボール連盟に所属する、社
会人バスケットボールクラブチー
ムがあるのをご存じでしょうか。平
成25年に設立され、現在、20〜30代
の部員14人で、来年行われるみやざ
き県民総合スポーツ祭に向けて、旧
北方中学校体育館で週1回の練習
に取り組んでいます。同チームを設
立した一員であり、同連盟の理事を
務める橋口優亮さんに話を聞きま
した。

橋口さんは、学生時代バスケット
ボール部に所属し日々汗を流しま
す。高校卒業後、茨城県内の大学に
進学し、就職しますが、「バスケット
ボールをしたい」という気持ちが強
く、仕事をする傍ら、自ら社会人バ
スケットボールクラブチームを立
ち上げ、活動を始めます。その後、父
親が体調を崩したため、7年前に串
間に戻り、市内にある社会人チーム
に入ろうと思いい、同好会が福島中学
校で活動していることを知り、所属
して練習を始めます。

同好会で日々練習をする中で、橋
口さんは「大会に出場して勝ちた
い。目標に向かって真剣に練習した
い」という気持ちが芽生え、同じ
チーム内のメンバーとともに、同好

会を「ももちゃんず」として正式な
バスケットボールクラブチームに
昇格させ、新たなスタートを切りま
す。

「メンバーそれぞれが異なる業種
であり、練習に都合がつかないこと
や部員数も設立当時と比べ減った
ため、思うような練習ができないと
きもあります」と橋口さん。

そこで、知人から紹介された方に
直接会って勧誘を行ったり、中学・
高校生に呼び掛けて一緒に練習を
行うなどして、日々質の高い練習が
できる環境づくりに努めています。

橋口さんは、婚活イベントを実施
する団体「恋旅くしま実行委員会」
の代表も務めており、昨年2月に「
R日南線の利用促進を目的とした
本市の補助事業を活用し、同線を利用
したイベントを行いました」。

「今後は、世代を問わず人を増や
していくとともに、さらに切磋琢磨
して練習に励み、さまざまな試合で
勝てるようにチームに貢献してい
きたい」。また、「2月以降に再度、
JR日南線を利用した婚活イベント
を実施する予定なので、出会いの
きっかけになるよう、昨年よりもさ
らに工夫した企画を考えていきたく
い」とこれからの目標を話します。

「ももちゃんず」部員募集!

年齢は問いません。初心者の方大歓迎で
すので一緒にバスケットボールをしませ
んか?
問い合わせ先:橋口☎090-7167-9539

はしくち ゆうすけ 橋口 優亮さん (福島地区・上小路)

串間市バスケットボール連
盟理事。婚活イベントを実施
する団体、「恋旅くしま実行
委員会」の代表も務める。



婚活イベントであいさつする様子



普段の練習の様子